

# 第25回 聞き書き甲子園 全国12地域で実施

## ～参加高校生の募集にあたりオンライン説明会を開催～

第25回 聞き書き甲子園は、全国12地域の森・川・海の「名人」を「聞き書き」する高校生の募集にあたり、5月19日(火)にオンライン説明会を開催します。

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が森・川・海の「名人」を訪ね、その知恵や技、心を「聞き書き」し、記録・発信する活動です。平成14年度に始まった同甲子園には、2200人を超える高校生が参加しました。

令和元年度からは、名人の推薦と高校生の受入れに協力する市町村(地域)を全国から公募。農山漁村地域と若い世代をつなぐ活動を展開しています。

本年度の聞き書き甲子園に参加する高校生の募集を、5月8日(金)に開始するにあたり、活動の趣旨や高校生の受入れにご協力いただく市町村(12地域)を紹介するオンライン説明会を下記日程で開催します。

日時: 2026年5月19日(火) 16:00～16:45

内容: ①主催者代表挨拶  
②事業趣旨の説明  
③聞き書きを行う12市町村(地域)の紹介  
④質疑応答

申込: 当日の正午迄にお申込みフォームよりお申込みください。接続URLをお送りします(ZOOM使用)。

【お申込みフォーム】



【お問い合わせ】

聞き書き甲子園実行委員会事務局

(地球緑化センター内 担当: 小形、大家、三木)

東京都中央区八丁堀4-11-3 金谷ビル2階201

電話: 03-5542-0132 メール: [contact@kikigaki.net](mailto:contact@kikigaki.net)



## 取材先は全国に広がる 12 の地域

【2026年度の受け入れ地域】



主催: 聞き書き甲子園実行委員会

[農林水産省/文部科学省/環境省/(公社)国土緑化推進機構/(特非)地球緑化センター]

※聞き書き甲子園は、(株)ファミリーマートをはじめ、複数の企業・団体の支援協力により実施しています。



名人を訪問し、一対一で話を聞く



名人は造林手、木工職人、漁師などさまざま



夏の事前研修では「聞き書き」の手法について学ぶ



研修内容をいかして一対一で名人を取材



来年3月には、都内で成果発表会を開催

## 「聞き書き甲子園」とは

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が森・川・海の「名人」を訪ね、その知恵や技、心を「聞き書き」する活動です。

名人の推薦と高校生の受入れに協力する地域(市町村)を毎年公募し、各地域が推薦する複数名の名人を、高校生は一対一で訪問し、「聞き書き」します。

第25回開催にあたる本年度は、全国12地域の森・川・海の名人を取材する高校生65名を募集します。

## 「聞き書き」とは

聞き書きの基本は、一対一のコミュニケーションです。高校生は、名人との対話をすべて録音し、その言葉を一言一句書き起こし、名人の言葉だけを使って、その語り口を活かした作品をまとめていきます。

高校生は、聞き書きを通して、名人の生きざま(人生)を受け止めます。「森が泣いている」「村が寂しくなった」と語る名人の思いに少しでも応えたいと、里山里海の保全や地域活性化などに取り組む卒業生の活動も生まれました。

聞き書きは、祖父母の世代から孫の世代へと、生きる知恵や心をつなぐ活動です。キャリア教育やESD(持続可能な開発のための教育)の事例としても高く評価されています。

## 「名人」とは

日本列島の風土と文化を基盤に、森・川・海などの自然とかわる営みに従事し、先人から受け継いだ知恵や技(わざ)を継承・実践しながら、地域や同業者の模範となっている方を指します。

概ね50歳以上で、当該分野に15年以上従事している方を基本としています。

## 協力市町村(地域)について

第25回(令和8年度)は、全国の12の市町村(地域)と連携し、地域から推薦いただいた65名の名人的ご協力により、同数の高校生が聞き書きを行います。

聞き書きによって高校生は、「生きること」や「働くこと」の本質を名人から学び、またその地域を「第二の故郷」と感じさせる特別なものへと変えます。

聞き書きにより農山漁村と若者をつなぎ、地域文化の継承や関係人口の創出に貢献していきます。

※令和9年度「第26回聞き書き甲子園」の協力市町村公募は、本年5月8日より開始します。詳細はホームページをご覧ください。

聞き書き甲子園ホームページ：<https://www.kikigaki.net/>